



### 令和4年9月度の活動



9/7(須藤自宅車庫)  
 森林ウォーキングコース  
 の案内板を日大生ボラ  
 ンティア5人が製作して  
 くれました。中学校以来、  
 使用したことがないとい  
 う彫刻刀を使用して、一  
 生懸命に文字を彫って  
 くれました。作製してく  
 れた案内板は11月中旬  
 にウォークラリーで使  
 用する予定です。



9月の森づくり「野鳥・  
 昆虫が寄ってくる森づ  
 くり」多目的広場にて雑  
 刈払い中心に活動を行  
 ないました。また、土  
 壌改良剤「アクアリフ  
 ト」を散布しました。



#### 9月の仙郷の森で見られた草木 マツカゼ草

- ・日本に自生するミカン科の植物では唯一の「草」であり、特異な存在とされる。
- ・マツカゼソウという名前の由来は不詳だが、柔らかな葉が風に揺れる様になむものと思われる。しかしその優雅さとは裏腹に、全草にメチルノニルケトンという有毒物質を含み、誤って口にすると下痢や腹痛を引き起こす。
- ・開花は秋で、茎の先端に小さな白い四弁花を、まばらな円錐状に咲かせる。花の後にできる果実は卵形をした四つの小さな果実(分果)からなり、その表面には同じミカン科のサンショウやゴシュユと同じように細かな凹凸がある。
- ・葉は画像のような羽根状になり、長さ5～10センチの柄がある。小葉の大きさは不揃いだが、何れも薄くて丸みを帯びる。葉の裏面は白っぽく、陽光に透かして見るとミカン科に共通の「油点」があり、葉を手で揉むと柑橘系の匂いがする。
- ・漢名は「臭節草」で、民間療法ではこれを神経痛に用いる。開花期に刈り取った地上部を乾燥させ、細かく刻んだものをホワイトリカーに漬け、ガーゼなどを使って患部に塗って使う。



#### ネイチャーゲームってなに？

ネイチャーゲームは、1979年アメリカのナチュラ リスト、ジョセフ・コーネル氏によって発表された自然を直接体験するプログラムです。四季折々の身近な自然の中で(あるいは大自然の中で)、五感を使って自然を直接体験するのです。しかも、大人も子どもも目を輝かせて、わくわくドキドキしながら。あるいは集中して、深く自然と関わります。

## 里山保全活動 令和4年10月度予定

### 《親子体験学習》

- ◇日時 令和4年10月16日(日) 9:00~15:00頃
  - ◇集合場所・時間 仙郷の森(多目的広場) 8:45
  - ◇活動場所 仙郷の森(多目的広場)
  - ◇対象者 小学生親子・中学生・高校生・一般(大学生・社会人)
  - ◇活動内容 動植物の観察・どんぐり種まき・ネイチャーゲーム・森の音楽会
  - ◇服装 長ズボン・長袖シャツ・運動靴
  - ◇参加費(保険代300円):小学生親子・中学生以上
  - ◇持物 飲み物・タオル・筆記具・マスク・帽子
- ※参加者の方は10/13までに連絡をお願いします。(090-2689-6913(須藤))
- ※雨天:中止

### 『里山会公文名ファイブのファイブとは?』

- ・農地・森林の荒廃地を防ぐための活動
  - ・森林利用しての福祉活動(健康づくり・体不自由な人も利用できる森づくり)
  - ・里山に生息する動植物の増殖(落葉広葉樹を殖やす)
  - ・里山文化の復活(子供たちへの継承)
  - ・地域のコミュニケーションづくり
- “この五つを基本として活動を行っています。”



### 昆虫・野鳥が集まる「仙郷の森づくり」参加者募集

- 日時 毎週木曜日 ●活動時間 10:00~14:00
  - 集合場所:仙郷の森(多目的広場) ●対象:森づくりをやりたい方
  - 活動場所 仙郷の森(多目的広場) ●活動内容 雑木・竹伐採片付け等・落葉広葉樹植樹
  - 参加費 無料 ●服装 作業できる服装 ※道具はお貸します。
  - 持物 弁当・手袋・帽子・飲料水・マスク
- ※参加してみたい方で、木曜日以外に参加希望の方は須藤まで連絡をお願いします。090-2689-6913
- ※活動場所が分かりにくいので、参加者に後日、連絡します。

### 豊かな森は、自然からのかけがえない恵みです「森と環境」

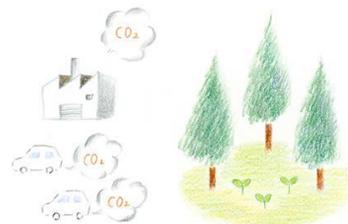
#### カーボンオフセットって何

カーボンとは炭素という意味ですが、カーボンオフセットというときのカーボンは、二酸化炭素(カーボンダイオキサイド)を指します。

オフセットとは、うめ合わせという意味です。出してしまった二酸化炭素を、違う方法でうめ合わせ、帳消しにする考え方をカーボンオフセットといいます。二酸化炭素には、熱をとじこめる性質があるので、二酸化炭素を増やすことは、地球温暖化を進めることとなります。石油やガスを燃やし、それによってつくられた電気を使うことは、二酸化炭素を出すことになるので、なるべく減らしたい

ものです。でも、テレビを見たり、お風呂をわかしたりなど、ふだんの生活をしているだけで、電気も石油もガスも使ってしまうものです。そこで、そのうめ合わせをしようというのが、カーボンオフセットです。

たとえば植林や森林保護もひとつの方法です。二酸化炭素をすいこんでくれる森林を育てることで、出した二酸化炭素を帳消しにするのです。お正月の年賀(ねが)はがきで、カーボンオフセットに取り組める「カーボンオフセット年賀」があります。1まいあたり5円上乗せされていて、その集められた5円は、植林など、森の整備(せいび)に使われるのです。はがきをつくるには、木からパルプをつくって紙にします。そのために電気などのエネルギーを使います。はがきを配達するのにも、ガソリンを燃やして二酸化炭素が出ます。それらを植林などの森の整備によってうめ合わせするのです。年賀はがきだけではなく、ほかの商品やサービスにもカーボンオフセットのついたものが増えてきています。



「野鳥・昆虫が寄ってくる森づくり」をNPO法人里山会公文名ファイブが仙郷の森で行なっています。是非、遊びに来てみて下さい。

地球は、人間だけが住むだけの場所ではない、動植物が一諸に暮らす場所です。